

美容ファッションビジネス学科

現代のファッションを取り巻く状況から「ファッションという概念は、多様性が求められると共に、統一美が求められている。」と考えています。

本学科はファッションデザイン教育において70年以上の歴史があり、衣服中心のファッション分野教育から生活文化としての教育への転換、さらに生活空間全てをファッションとしてとらえ、各分野（髪の毛からつま先、人間の内面、環境、ビジネス）との良好な相互作用を教育課程に取り入れることで現代社会に必要とされているトータルな視点を持った人材を養成したいと考えています。

1. 美容ファッションコース

美容師国家試験受験資格の取得と短期大学卒業のキャリアを身に付けます。

① 主要科目の特徴

科目名	特徴
美容技術理論Ⅰ・Ⅱ	美容に関する基礎的知識および理論を習得し、クリエイティブな仕上がりイメージを理論的に理解し、表現できるように。
美容実習Ⅰ～Ⅵ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ美容の基礎的な理論をもとに美容技術を安全かつ効果的に身に付けます。さらに美容師国家試験「合格」という目標を目指し、各課題の技術習得を目的とします。

② 履修モデル

区分	選択区分	履修内容
一般教育科目	選択必修	5科目（10単位）より4科目以上（8単位以上）選択
外国語	必修	英語（2単位）
体育	必修	スポーツ健康科学（1単位）、スポーツ健康実技（1単位）
専門教育共通科目	必修	9科目（14単位）
専門教育科目	必修	卒業必修および美容師国家試験受験資格必修 34科目（72単位）
	選択	3教科（6単位）

③ 美容ファッションコース履修モデル詳細

検定試験	検定試験を支援する科目
ネイリスト技能検定	ネイルアートⅠ・ネイルアートⅡ
フェイシャルエステティシアン	エステティック
カラーコーディネーター検定	カラーコーディネート
サービス接客検定	接客法

2. トータルファッションコース

ファッションのスペシャリストを目標に、トータルプロデュースに欠かせない「モノ創り」の確かな専門知識と技術を体験し、さらにコンピュータグラフィックスを中心に、高いファッション表現能力も身に付けます。

① 主要教科の特徴

科 目 名	特 徴
ファッションデザイン論	ファッションデザインに必要な基礎理論・知識を習得し、作品制作に必要なデザインの構成要素を学びます。
ファッションデザイン基礎	課題制作を通し、ファッションショーによる、プレゼンテーション（着装発表）までを含め、基礎的技術の習得と、ファッション感性の向上を目指します。
織物デザイン論	織機の機能や素材となる糸について理解し、織物の設計から制作までに必要な知識を、理論的に学びます。
織物デザイン基礎	手織りの作業を通して、布の構成を学び、糸染めと織の基礎技術を習得し、創造する感性を高めていきます。
コンピュータグラフィックス論	コンピュータグラフィックス（CG）技術の全般的な知識を習得することを目的とします。講義内容には CG クリエーター検定 3 級の試験範囲を含んでいますので、検定試験へのチャレンジも可能です。

② 履修モデル

区 分	選択区分	履 修 内 容
一般教育科目	選択必修	5 科目（10 単位）より 4 科目以上（8 単位以上）選択
外国語	必 修	英語（2 単位）
体育	必 修	スポーツ健康科学（1 単位）、スポーツ健康実技（1 単位）
専門教育共通科目	必 修	9 科目（14 単位）
専門教育科目	必 修	10 科目（20 単位）
	選択必修	【ファッション専攻】3 科目（6 単位） ファッションデザイン論・ファッションデザインⅠ・ファッションデザインⅡ
		【織物専攻】3 教科（6 単位） 織物デザイン論・織物デザインⅠ・織物デザインⅡ
選 択	23 科目（35 単位）	

③ トータルファッションコース履修モデル詳細

検定試験	検定試験を支援する科目
販売士	商品学・販売実務総論
ファッション販売能力検定	ファッション販売論・ファッションマテリアル
カラーコーディネーター検定	カラーコーディネート
日商 PC 検定(文書作成)	ビジネス情報処理演習・情報処理演習 I
ネイリスト技能検定	ネイルアート

3. ビジネスコース

さまざまなビジネス現場で活かせる多彩なビジネス能力や、自己表現方法を身に付けます。

① 主要教科の特徴

科目名	特徴
ビジネス実務総論	ビジネスの基礎を理解し、ビジネス活動に必要な考え方を習得し、さらにセルフマネジメントやキャリアデザインについて学びます。
情報科学	現代社会では欠かすことのできない情報の基礎やコンピュータの仕組み、インターネットの仕組みなどを学習し、総合的な情報管理・運営ができることを目指します。さらに、文部科学省後援情報検定情報活用試験 2 級にチャレンジします。
現代企業論	企業の構造、その諸活動などといった基礎・基盤となる内容について学ぶ。そのうえで、現代企業の抱える諸問題を取り上げることで、現代企業の在り方について考えます。

② 履修モデル

区分	選択区分	履修内容
一般教育科目	選択必修	7 科目 (14 単位) より 4 科目以上 (8 単位以上) 選択
外国語	必修	英語 (2 単位)
体育	必修	スポーツ健康科学 (1 単位)、スポーツ健康実技 (1 単位)
専門教育共通科目	必修	9 科目 (14 単位)
専門教育科目	必修	16 科目 (26 単位)
	選択	23 科目 (35 単位)

③ ビジネスコース履修モデル詳細

資格・検定試験	資格取得のための科目、検定試験を支援する科目
ビジネス実務士	ビジネス実務総論・ビジネス実務演習・プレゼンテーション論・ 文書実務・人間関係論・事務管理・経営実務Ⅰ・経営実務Ⅱ・ 情報科学Ⅰ・情報科学Ⅱ・ビジネスコンピューティングⅠ・ 情報リテラシー・生活と情報・現代企業論・現代社会と政治
情報処理士	情報リテラシー・情報科学Ⅰ・情報科学Ⅱ・統計学・ ビジネスコンピューティングⅠ・経営実務Ⅰ・経営実務Ⅱ・ 流通論・経済学・人間関係論・プレゼンテーション論・ 日本語表現法
医療秘書実務士	診療報酬請求事務Ⅰ・診療報酬請求事務Ⅱ・ビジネス実務演 習・医療秘書実務演習・公衆衛生学・人体の形態と機能・ 医事コンピュータ演習・医療事務概論・社会福祉・ 医薬品の基礎知識・英語・心理学
メディカルクラーク(医科)	メディカルクラーク (特別講義)
秘書技能検定	ビジネス実務総論・ビジネス実務演習
ビジネス文書技能検定	文書実務・ビジネス実務演習
日商 PC 検定(データ活 用)	情報リテラシー・情報科学Ⅰ・情報科学Ⅱ・ ビジネスコンピューティングⅠ・ビジネスコンピューティング Ⅱ
日商 PC 検定(文書作成)	情報リテラシー・情報科学Ⅰ・情報科学Ⅱ・ 情報処理演習Ⅰ・情報処理演習Ⅱ
IT パスポート	プレゼミナール・ゼミナール (シスアド)
情報検定 情報活用試験	情報科学Ⅰ・情報科学Ⅱ
販売士検定	商品学・販売実務総論
ファイナンシャル・ プランニング技能検定	ファイナンシャル総論・ファイナンシャル実務
カラーコーディネーター検定	カラーコーディネーター
ネイリスト技能検定	ネイルアート

【美容ファッションビジネス学科 共通科目】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
11100	心理学	1. 「心とは何か」という問に対して、講義内容をもとに自分なりの答えを見つける。 2. 心理学がどのように社会に貢献しているのかについて理解する。 3. 性格検査などを通して、自己理解を深める。
11200	美術	1. 美術作品を深く味わい、テキストと配布資料から作者や作品の時代背景について興味を持って調べる。 2. 作品に対して主体的な意見を持ち、口頭と記述によってそれを伝える。 3. 作品鑑賞を通して自分自身を見つめ、思考の変化について考察する。
11300	国語	敬語、文法、語彙、文字・表記、新しい表現、表現技巧等の基礎を見直し、言葉を適切に表現し物事を正確に理解する能力を養成し、言語能力や表現能力の向上を図る。また、国語を通して思考力や想像力を伸ばし、感情を豊かにすることがこの授業の目標である。
40273	社会福祉	1. 現代社会における社会福祉の基礎的な知識を理解する。 2. 福祉の現状と問題点について考え、理解する。
12200	社会学	現在の社会のナマの現象を分析、その歴史を通じて将来のあるべき姿を探る。
12150	経済学	本科目を学習することにより、経済現象について考える力をつけることを目的とする。
13600	統計学	実社会でビジネス分野の基本的なデータ分析技法できるレベル、少なくとも記述統計については実際に活用できるレベルを目標とする。
14200	国際理解	隣国の韓国の文化に触れることによりグローバル的視野と国際的感覚を持った人材を育成することを目的としている。
20100	英語	海外から発信された、生活に密接したニュース記事や論文など様々なスタイルの英文を基に、論理的で明快な文章の構造を解く。また、多様な生き方の価値観と学習者自身の価値観を対照し考察する。
30101	スポーツ健康科学	1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる
30201	スポーツ健康実技	1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる

【美容ファッションビジネス学科 共通科目】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40028	美容ファッションビジネス論	社会の各方面で活躍している方々をお招きし、講話をしていただくことにより、直面している就職活動の方向性を明確にします。また、就職のためのキャリアプランを立てます。
40029	コーディネート論	服飾と美容のバランスを考え、コーディネートできる基本的な知識や感性を学び理解する。
40035	プレゼンテーション論	生活のあらゆる場所や、局面で行われる説明や説得の活動、すなわちプレゼンテーションの構成を分析し、その要素を確認します。さらに、より効果的なプレゼンテーションを行うための技術を学んでもらいます。
40040	プレゼンテーション I	〈トータルファッションコース、美容ファッションコース〉 ポジションニングを練習する前に、まずものごとをよく「見る」そして「考える」といった基本の練習から始めたいと思います。 〈ビジネスコース〉 プレゼンテーションの組み立て方、問題解決の方法など論理的に演習を行います。
40041	プレゼンテーション II	〈トータルファッションコース、美容ファッションコース〉 ビジネスクリエイティブ、企画立案論、ステージ演出方、技術知識と幅広く講義、又、ウォーキング、ポーズという表現力を実習形式にて指導。 〈ビジネスコース〉 一人ひとりが自分をプレゼンテーションできることを目指します。
40222	情報リテラシー	1. Windows の基本操作ができる。 2. Web アプリケーションのユーザ登録・利用ができる。 3. オフィススイートを利用して資料の作成ができる。
40190	生活演習 I	生活基盤を家庭だけではなく地域社会にまで広げて「筑紫の心」を学び、実践しそれを身に付ける。
40191	生活演習 II	生活基盤を家庭だけではなく地域社会にまで広げて「筑紫の心」を学び、実践しそれを身に付ける。
40012	人間関係論	人間関係についての具体的な事例を基に、社会に出て良好な人間関係を築くための方法や知識について学習します。

【美容ファッションコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40046	カラーコーディネーター	美容・ファッションを学ぶ上で必要な色彩基礎知識を理論と実践から習得する。カラーコーディネーター3級検定受験を目指した具体的な指導を行う。検定終了後、似合う色を見極めるパーソナルカラーの理論・実習を行う。
40047	コンピュータグラフィックス基礎	1. デザイン理論の基礎を理解する。 2. 関連技術の基礎を理解する。
40321	関係法規・制度	美容師を目指す学生が、将来社会に巣立ち美容師として業務を行い、また独立して美容院を開設する等の場合に知っておかなければならない事柄について美容師法を中心に、法律の成り立ちや、求められている内容、規制等をしっかりと身につけることを目標とする。
40322	衛生管理技術	衛生管理技術について国家試験のための基礎知識を十分理解させる。消毒の計算には徹底して理解していただく。
40670	公衆衛生学	公衆衛生学について、国家試験に役立てる基礎知識を理解させる。
40323	感染症学	感染症学について、国家試験に役立てる基礎知識を理解させる。
40324	皮膚科学Ⅰ	解剖学や生理学を基礎として、おもにヒトの頭や顔(頭頸部、顔面)における皮膚科領域の構造と機能それらに関係がある皮膚と付属器の疾患について学び、専門職としてより高い知識をえるように学習する。
40325	皮膚科学Ⅱ	解剖学や生理学を基礎として、おもにヒトの頭や顔(頭頸部、顔面)における皮膚科領域の構造と機能それらに関係がある皮膚と付属器の疾患について学び、専門職としてより高い知識をえるように学習する。
40326	解剖学	健康な体の仕組み(構造)と体の各部分の働き(生理学)の知識をえて、美容師としての美の追求にたずさわる場合の保健に役立てる分野を学ぶ。
40327	生理学	健康な体の仕組み(構造)と体の各部分の働き(生理学)の知識をえて、美容師としての美の追求にたずさわる場合の保健に役立てる分野を学ぶ。
40328	美容の物理	美容の技術や作業に関係する物理的原理を理解し、その具体的活用や注意すべきことを学習する。
40329	美容の化学	美しい自分を保つために必要な化学知識の基礎を学ぶ。
40330	化粧品化学	化粧品の基礎知識を学んでもらい、国家試験に合格することを目的とする。
40301	美容ファッション史	ファッションの変遷から造形、色彩、服飾などに関する基礎的知識を学び、芸術的な表現力や鑑賞力を養い今日的な美的感覚を身につけることを目標とする

【美容ファッションコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40127	基礎デザイン I	1. 自然の形態を描くことにより深く観察する。形態の秩序やバランスについて考え、デザインを発想する。 2. 図と地の面積のバランスとムーブメントを考慮したレイアウトをする。 3. 計画的に配色を考え、絵具による混色の工夫をして彩色し、作品を完成させる。
40151	ファッションデザイン論	顧客の個性、服装などをトータル的に捉え、個々に応じてヘアスタイルをデザインし、流行を創り出す能力を身につけさせることを目標とする。
40044	マネジメント論・労務管理	労務管理の基本的事項を学習することによって、美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること。
40310	接客法	求められる人材を明らかにしていき、技術に偏りがちな学生の視点を、お客様の満足の為に尽くすと言う視点から、求められることがどのようなものか示していきます。
40335	美容技術理論 I	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。また個々のお客様の要望に応じた美容技術を提供できるように総合的な技術の基礎を身に付けさせる事を目的とする。
40336	美容技術理論 II	美容技術理論 I で学習した、美容技術を裏付ける基本的理論をしっかり習得させ、時代の流れに関係なく、新しいヘアファッションを生み出せる力を身につけさせることを目的とする。 具体的には、エステティック、ネイル、メイクアップ、日本髪、着付け技術を学ぶ。
40337	美容実習 I	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。また個々のお客様の要望に応じた美容技術を提供できるように総合的な技術の基礎を身に付けさせる事を目的とする。
40305	美容実習 II	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。
40317	美容実習 III	美容実習 I で学んだ基礎的技術をベースに、美容師国家試験の実技試験課題を反復練習する。 定期的にレベルチェックを行い、美容師国家試験に合格することを目的とする。
40343	美容実習 IV	ヘアーシェーピング…基本的コームの持ち方・ストランドシェーブ時の持ち方・フィンガーウェーブ時の持ち方 ヘアーカーリング…ヘアーシェーピング・スライジング・ベース・ステムの方向と角度・テンション・ループの大きさ・毛先の扱い方などの、基本的な頭部技術を確実に身に付けさせること。
40315	美容実習 V	個々の客の要望に応じた美容技術を提供できるように総合的な技術の基礎を身に付けさせる。

【美容ファッションコース】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40344	美容実習Ⅵ	本番の国家試験を想定し、模擬試験を行う。美容師免許取得という、最終目的のひとつである美容師国家試験に合格させること。
40311	メイクアップⅠ	メイクアップ技術の歴史、理論、現状のほか、各種のメイクアップ技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ばせること。特に、メイクアップ技術の効果と安全性に関する科学的基礎について十分に認識させる。
40312	メイクアップⅡ	メイクⅠで学んだ基礎知識をベースにして TPO に応じたより高度なメイクアップテクニックを学ばせる。
40340	コーディネート (着装)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時代と共に触れなくなってきた着物について学び、着付けの授業を通して身近なものにする。 2. 浴衣は、自分で着れるようになる。留袖は、人に着付けれるようになることを目標とする。 3. 美容室に就職した際、着付けたり助手が出来るように知識を身に付ける。
40308	エステティック	エステティック技術の歴史、理論、現状のほか、各種のエステティック技術の目的、種類、特徴、技術上の注意などについて学ぶことにより視野を広げ、将来、美容師だけでなく、トータルの美を追求できるエステ技術者を育成することを目的とする。
40341	ネイルアートⅠ	「ネイルケア」こそ「ネイル学」の基本であり、これらの知識を学び、学術的裏付けをふまえて、安全で適切な技術が提供できるのです。 ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学び、技術面だけでなく、ネイルに関する正しい基礎知識を習得し、芸術的、美的センスをもったネイリストを育成することを目的とする。
40342	ネイルアートⅡ	ネイルアートⅠで学んだ知識や技術を向上させ、さらにアーティフィシャルネイル等、幅広く専門知識、技術を習得することにより視野を広げ、美容ファッションコースの特性であるトータルコーディネートの提案ができるネイリストを育成することを目的とする。
40316	美容総合技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実際に相モデルで実習を行い、ウィッグと人との違いを理解させる。 2. 美容室を想定し、疑似体験を通し、実際の美容師の仕事を体験させる。
40345	美容特別演習	理論と基本的技術をしっかりと習得させる

【美容ファッションコース】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40338	ファッション造形	デザイン及び基礎的装飾技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン展開、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・作品制作を通し、装飾技術の向上が認められる。 トータルスタイリング計画 <ul style="list-style-type: none"> ・クラフトデザインとのリンクにより、ヘアコサージュの設定。 ・ヘアアレンジやメイクアップ、ネイルアートともコラボレーションし、トータルスタイリングを実施。 プレゼンテーション計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作品装着によるイメージフォトの作成。 ・着装による表現発表(最終段階としてファッションショー)で、表現能力の向上が認められる。
40309	トータルファッション画	本授業では、基本である一本のきれいな線とプロポーションを重要なことと考え、繰り返し練習しながら、各自のテーマにそってトータルデザインまで展開していく
40339	クラフトデザイン	オリジナル ヘアコサージュの制作 <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・消費に対しての、ハンドメイドであることの意味性を認識できる。 ・デザイン展開、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・作品制作を通し、装飾技術の向上が認められる。 トータルスタイリング計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジやメイクアップ、ネイルアートともコラボレーションし、トータルスタイリングを実施。 プレゼンテーション計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作品装着によるイメージフォトの作成。 ・ファッション造形とのリンクにより、コスチュームとあわせ、着装による表現発表(最終段階としてファッションショー)で、表現能力の向上が認められる。

【トータルファッションコース】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40039	流通論	流通の仕組みと在り方について、具体的な企業の事例を取り上げることで、業界の実態を把握することをねらいとしていく。
40043	商品学	賞味・消費期限を偽った商品が出まわるなどの不安が多い昨今、原点に帰って流通を今一度見直す必要を痛切に感ずることから販売士の意義とその活動を学ぶ。
40046	カラーコーディネート	美容・ファッションを学ぶ上で必要な色彩基礎知識を理論と実践から習得する。カラーコーディネーター3級検定受験を目指した具体的な指導を行う。検定終了後、似合う色を見極めるパーソナルカラーの理論・実習を行う。
40047	コンピュータグラフィックス基礎	1. Illustrator を用いてイラストを描ける。 2. Photoshop を用いて写真を加工できる。
40151	ファッションデザイン論	ファッションデザインは「用と美」の二面を兼備することで成り立つことを理解し、目的にかなう二面を満たす実用的美的造形を計画し、これを具体的に表現出来ることを目標とする。
40146	コンピュータグラフィックス論	1. デザイン理論の基礎を理解する。 2. 関連技術の基礎を理解する。
40132	ファッション販売論	1. ファッション販売知識、マーケティング知識、ファッション販売業務、ファッション販売技術、店舗演出VP展開、ファッション商品知識等、テキストに沿った学習内容の理解が適切である。 2. ファッション販売能力検定 3 級、模擬試験 (A・B) において 80%以上の解答率を確保できる。 3. ファッション素材の基礎的知識を身につけ、他教科の課題制作においても、その能力を発揮できる。
40138	インテリアデザイン論	インテリアデザインにおける「色」・「形」・「素材」を基本に、インテリアの歴史から「住まい方」までを講義する。
40180	販売実務総論	百年に一度とも云われる経済不況に直面している今、多くの業種・業態が生き残りをかけて懸命に努力を続け、又多くの人々が実に生き残るべく日夜努力している現在、この状況のなか、如何におたがいが上手に信頼関係を築くことが出来るのか、改めて流通の現状から取り組んでいく。

【トータルファッションコース】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40150	ファッションデザイン基礎	<p>衣服構築における基礎理論と技術の修得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックデザインのパターン展開、トワルによる補正、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・ベーシック課題の制作に必要な縫製技術の理解と、その実施。 アートテクニック計画 ・アートテクニックの着眼点、デザイン展開、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・オリジナルコスチュームへの展開に必要な技術の理解と、その実施。 トータルコーディネート計画 ・ヘッドドレスやアクセサリ制作、ヘア・メイクも含め、トータルスタイリング計画ができる。 プレゼンテーション計画 ・着装による作品発表(最終段階ではファッションショー)で、表現能力の向上が認められる。
40149	織物デザイン基礎	<p>手織りの作業を通して、布の構成を学び、糸染めと織りの基礎技術を習得し、個人の持つ創造する感性を高めていく。</p>
40183	ファッションマテリアル	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションマテリアルについて、基礎的知識としての、その特性や効果・機能が理解でき、他教科の課題制作においても、その能力を発揮できる。 2. ファッション販売論と内容をリンクさせ、ファッション販売能力検定3級、模擬試験(B内ファッション商品知識)において80%以上の解答率を確保できる。
40170	ファッションデザイン I	<p>衣服構築における基礎理論と技術の修得、またその応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループメンバーによるデザイン設定、パターン展開が適切である。 ・トワルによる補正、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・課題の制作に必要な縫製技術の理解と、その実施。(袖、衿の取り扱い) アートテクニックへの展開(造形的要素をプラス) ・アートテクニックの着眼点、デザイン展開、マテリアルの選択や取り扱いが適切である。 ・オリジナルコスチュームへの展開に必要な技術の理解と、その実施。 トータルコーディネート計画 ・帽子、バッグやアクセサリ制作、ヘア・メイク等も含め、トータルスタイリング計画ができる。 プレゼンテーション計画 ・着装による作品発表(最終段階ではファッションショー)で、表現能力の向上が認められる。
40173	織物デザイン I	<p>織物デザイン基礎で学んだ知識、基礎技術を基に、更に多様な技法、複雑な組織に挑戦する。ショールやマットの制作を通して生活スタイルの総合的なコーディネート視野に入れながら個々の独創性を高めるため、個別指導を行う。</p>
40331	コンピュータグラフィックス I	<ul style="list-style-type: none"> ・Illustrator と Photoshop を連携させた高度な表現ができる。

【トータルファッションコース】

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40171	ファッションデザインⅡ	より構築的な作品制作を通して服装における造形表現と感覚を修得することを目的としたコスチュームアートを試みる。
40174	織物デザインⅡ	個別のテーマを設定し、自ら計画し作品を制作することで、自主的な制作態度を身につける。
40332	コンピュータグラフィックスⅡ	Illustrator と Photoshop を用いて、ポスターや冊子などの印刷物を制作できる
40309	トータルファッション画	本授業では、基本である一本のきれいな線とプロポーションを重要なことと考え、繰り返し練習しながら、各自のテーマにそってトータルデザインまで展開していく
40127	基礎デザインⅠ	1. 自然の形態を描くことにより深く観察する。形態の秩序やバランスについて考え、デザインを発想する。 2. 図と地の面積のバランスとムーブメントを考慮したレイアウトをする。 3. 計画的に配色を考え、絵具による混色の工夫をして彩色し、作品を完成させる。
40131	テキスタイルCG	1. 課題におけるテーマ、コンセプト、イメージ計画が適切である。 2. カラー、マテリアル、フォルム、シルエット、ディテール表現が適切である。 3. ファッションマテリアルの変化による、色彩・造形表現が展開できる。 4. 最終段階として、課題によるプレゼンテーション(発表)を実施、表現能力の向上が認められる。
40038	日本語表現法	「読む・書く・話す・聞く」、日常生活の基本的な日本語の表現を基礎的に繰り返し学ぶことで、表現技術を確かなものにし、さらに豊かな言語表現に発展できるよう実践に移し、また社会に出て必要な自己表現と円滑なコミュニケーション能力を習得することをこの授業の目標としている。
40295	情報処理演習Ⅰ	ビジネス分野の基本技能である文書作成に関して、ワープロ操作、ビジネス文書作成、情報知識に関して、社会人3年以内に求められる技能の習得を目指す。具体的には、日商で社会人3年までに求められる技能として制定された、日商PC検定文書作成3級レベルの技能と資格取得を目標とする。
40283	ビジネス情報処理演習	知識面では情報、ビジネス文書の基本レベルを習得し、実技面ではワープロ操作、表計算ソフトの操作において社会人3年以内に求められるレベルの技能習得を目標とする。資格取得では日商PC検定文書作成3級習得を目標とする。
40310	接客法	CS(顧客満足)の観点から、接客の知識・技術・心の向上を目指す。 お役様の立場に立って考え、行動出来るよう、個人ワーク・演習に重点を置く。
40207	ビジネスマナーⅠ	時代に即応する柔軟で想像力や責任ある判断や、行動力のある人が求められる社会で大切なビジネスマナーの基本を実務演習を通して身につくように進める
40117	染色デザイン基礎	染色の各技法を学び、それぞれの染料の特性を理解することを目標とする
40156	日本刺繍基礎	1500年以上伝え守られて来た日本伝統文化の技術を学びながら、本学創設以来独自の表現法を加え作品を制作する。

【トータルファッションコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40130	基礎デザインⅡ	1. 主體的に表現のテーマを設定し、資料収集をする。資料を基に素描しデザインを発想する。 2. 統一と変化のバランスを考慮したレイアウトをする。 3. 配色の効果を知り、表現の目的に応じた色彩計画による着色で作品を完成させる。 4. デザインの発想と準備から完成までをプレゼンテーションする。
40181	染色デザイン	染色作品を自ら計画し制作することで、創造力、観察力、デザイン力、技術力を培い豊かな感性を養うことを目標とする
40141	インテリアデザイン演習	インテリアデザインにおける照明器具や収納術を身近にある素材を活かしながらトレーニングしていく。
40187	プレゼミナール	(古田・井上・小野寺) 礼服としての意義、目的、種類、着用時刻に適したフォーマルウェア、アクセサリなど時間によって着分けられることを理解した上でフォーマルの構成、素材の効果的な表現・技能が深まることを目標とする。 (大原)「織物デザインⅡ」で計画したものを、さらに具体化し作品とする
40188	ゼミナール	(古田・井上・小野寺) 礼服としての意義、目的、種類、着用時刻に適したフォーマルウェア、アクセサリなど時間によって着分けられることを理解した上でフォーマルの構成、素材の効果的な表現・技能が深まることを目標とする。 (大原)「織物デザインⅡ」、「プレゼミナール(織物デザイン)」で計画したものを、さらに進め公募展に出品できる内容のものまでに高める。
40184	服飾手芸	(前期) 目的や用途に応じて材料の特徴と選び方を理解し、新しい材質感や技法をもとにして創意くふうにより積極的に実践することを目標とする。 (後期) 服装と手芸の関連を理解し、ファッションの変化とともにアクセサリのデザイン、素材、用途、目的なども変化するがファッションをトータルにとらえ、コーディネートする知識、技術を学び、装いを豊かにすることを目標とする。
40134	ネイルアート	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学び、爪の形や皮膚の状態を整え、美しく仕上げる技術や手指のトリートメントのためのマッサージを習得し、一人ひとりの個性やファッション、イメージにそしているいろいろなライフスタイルに合ったネイルカラーやネイルアートが提案できることを目的とする。
40135	メイクアップ基礎	メイクアップの基礎知識とテクニックを習得し、顔立ちの個性を引き出させ、心身のメイクアップの意義を体得する。さらにヘアアレンジメント法を学び最終的なヘアメイクの技術を習得する事が目的である。シチュエーションに合わせたメイクアップを学ぶ。
40068	企業実習	学校で学んだ内容を企業で実践することにより、実務能力を高めます。実習を通じて企業を理解するとともに、職業選択と就職意識を身に付けます。

【ビジネスコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40275	現代企業論	現代企業の抱える諸問題を取り上げることで、現代企業の在り方を認識することを目的とする。
40039	流通論	流通の仕組みと在り方について、具体的な企業の事例を取り上げることで、業界の実態を把握することをねらいとしていく。
40043	商品学	賞味・消費期限を偽った商品が出まわるなどの不安が多い昨今、原点に帰って流通を今一度見直す必要を痛切に感ずることから販売士の意義とその活動を学ぶ。
40046	カラーコーディネーター	美容・ファッションを学ぶ上で必要な色彩基礎知識を理論と実践から習得する。カラーコーディネーター3級検定受験を目指した具体的な指導を行う。検定終了後、似合う色を見極めるパーソナルカラーの理論・実習を行う。
40047	コンピュータグラフィックス基礎	1. デザイン理論の基礎を理解する。 2. 関連技術の基礎を理解する。
40285	コンピュータ会計実務	既製の会計ソフト(弥生会計)を用いて、コンピュータ会計の実践的知識と技術を習得する。
40204	ビジネス実務総論	本科目では、ビジネスの基本を理解し、ビジネス活動に必要な思考を習得することを目的とする。
40201	現代社会と政治	オリエンテーションで説明
40215	生活と情報	インターネットやメールの便利さや危険性を理解するとともに、情報収集・情報の取捨選択・情報をまとめる力を付けます。さらに、授業において制作した作品を発表することにより、プレゼンテーション能力を高めます。
40200	経営実務 I	経営活動について、金銭的数値をもとに合理的に考え、処理していく能力を養うことを目的とする。
40202	経営実務 II	経営活動について、金銭的数値をもとに合理的に考え、処理していく能力を養うことを目的とする。
40180	販売実務総論	百年に一度とも云われる経済不況に直面している今、多くの業種・業態が生き残りをかけて懸命に努力を続け、又多くの人々が実に生き残るべく日夜努力している現在、この状況のなか、如何におたがいが上手に信頼関係を築くことが出来るのか、改めて流通の現状から取り組んでいく。

【ビジネスコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40205	ビジネス実務演習	本科目は、ビジネス実務を想定した内容について、講義形式、ならびに問題演習を採り入れた授業展開によって、その知識と技術を実践に役立てられる能力を養うことを目的とする。
40279	情報科学 I	情報科学、経営情報学の基本的レベルが理解でき、社会人として必要な基本的情報知識の習得を目指す。
40280	情報科学 II	情報科学、経営情報学の基本的レベルが理解でき、社会人として必要な基本的情報知識の習得を目指す。具体的には、文科省後援による情報活用試験 2 級レベルの内容は習得することを目標とする。
40216	ビジネスコンピューティング I	ビジネス社会の入社 3 年以内のキャリアに対して求められる、販売管理、仕入管理、会計などの分野の基礎的データ分析技法の習得を目標とする。具体的には統計学で学んだ技法を活用でき、さらに日商 PC 検定データ活用 3 級レベルの技能と資格取得を到達目標とする。
40217	ビジネスコンピューティング II	ビジネス社会の入社 3~5 年程度のキャリアに対して求められる、販売管理、仕入管理、会計などの分野の応用的データ分析技法の習得を目標とする。具体的には統計学で学んだ技法を活用でき、さらに日商 PC 検定データ活用 2 級レベルの高度な技能と資格取得を到達目標とする。
40038	日本語表現法	「読む・書く・話す・聞く」、日常生活の基本的な日本語の表現を基礎的に繰り返し学ぶことで、表現技術を確かなものにし、さらに豊かな言語表現に発展できるよう実践に移し、また社会に出て必要な自己表現と円滑なコミュニケーション能力を習得することをこの授業の目標としている。
40295	情報処理演習 I	ビジネス分野の基本技能である文書作成に関して、ワープロ操作、ビジネス文書作成、情報知識に関して、社会人 3 年以内に求められる技能の習得を目指す。具体的には、日商で社会人 3 年までに求められる技能として制定された、日商 PC 検定文書作成 3 級レベルの技能と資格取得を目標とする。
40296	情報処理演習 II	ビジネス分野の基本技能である文書作成に関して、ワープロ操作、ビジネス文書作成、情報知識に関して、社会人 3~5 年程度に求められる技能の習得を目指す。具体的には、日商 PC 検定文書作成 2 級レベルを目標とする。さらにネット社会におけるクラウドコンピューティング技能の基本レベル(ホームページ、ブログ作成、クラウドの諸活用)の習得を目指す。
40207	ビジネスマナー I	時代に即応する柔軟で想像力や責任ある判断や、行動力のある人が求められる社会で大切なビジネスマナーの基本を実務演習を通して、身につくように進める。

【ビジネスコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40208	ビジネスマナーⅡ	ビジネスマナーⅠで学んだことを踏まえ、ワンランク上のマナーを学ぶ。
40281	事務管理	トヨタ生産方式から生まれた「カイゼン」を学び、会社での事務の効率ということを理解する。 さらには自分自身が生活していく上において、本教科で学んだ「カイゼン」知識を応用して生活の改善を図る。
40210	ファイナンシャル総論	ファイナンシャルの基礎知識を学び、社会人として素敵な女性になるよう知識を身につける。
40211	ファイナンシャル実務	金融機関・不動産・企業の経理・財務などにおいて必要不可欠で就職に有利なFP3級の合格を目指す。
40282	文書実務	本授業ではビジネス文書の形式や文書における表現方法を学び、ビジネス社会での基礎力を付けます。 また、「ビジネス文書技能検定 3 級・2 級」の取得を目指します。
40290	データベース演習Ⅰ	データベースソフト ACCESS を使って、データベースの概念が理解でき、基本的レベルの操作できることを目標とする。
40291	データベース演習Ⅱ	基本的レベルを活用して、実社会で活用されている業務システムの基本的レベルなら構築できるレベルを目標とする。
40187	プレゼミナール	(山本) 後期に国家試験 IT パスポート試験を受験するための基礎的知識習得を目標とする。 (坂田・水野) 本科目は、ビジネス業界における各業界の現状を認識し、その業界における主たる問題を究明し、解決への手掛かりを得る(問題発見能力・問題解決能力を養う)ことを目的とする。 (領木)・Web デザインの基礎を理解する。 ・デザイン理論の基礎を理解する。 ・関連技術の基礎を理解する。
40188	ゼミナール	(山本) 国家試験である IT パスポート試験、J 検 1 級レベルの知識習得を目標とする。 (坂田・水野) 本科目は、ビジネス業界における各業界の現状を認識し、その業界における主たる問題を究明し、解決への手掛かりを得る(問題発見能力・問題解決能力を養う)ことを目的とする。 (領木) 制作について構想し、計画を立てて、それを実行できる。

【ビジネスコース】

開講科目コード	開講科目名	到達目標
40134	ネイルアート	ネイルテクニックの基本であるネイルケアを学び、爪の形や皮膚の状態を整え、美しく仕上げる技術や手指のトリートメントのためのマッサージを習得し、一人ひとりの個性やファッション、イメージにそしているいろいろなライフスタイルに合ったネイルカラーやネイルアートが提案できることを目的とする。
40135	メイクアップ基礎	メイクアップの基礎知識とテクニックを習得し、顔立ちの個性を引き出させ、心身のメイクアップの意義を体得する。さらにヘアアレンジメント法を学び最終的なヘアメイクの技術を習得する事が目的である。シチュエーションに合わせたメイクアップを学ぶ。
40068	企業実習	学校で学んだ内容を企業で実践することにより、実務能力を高めます。実習を通じて企業を理解するとともに、職業選択と就職意識を身に付けます。
40738	医療事務概論	医療保険制度の概要について保険請求事務の流れから各種医療保険制度のしくみを理解する。 診療行為別の点数算定方法とその解釈のうち、初診料、再診料、投薬料、注射料の各区分を理解する。
40744	医薬品の基礎知識	1. 薬事関係関連法規の理解 2. 基本臨床上の汎用される医薬品名の把握 3. 薬剤の薬理作用および副作用の理解 4. 薬剤の薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)などの基礎的知識の理解
40745	人体の形態と機能	自分の体がどのような形態になっていて、どのような機能を持っているか、各期間の機能低下が起った時にどのような疾病や外傷が起りうるかを理解する。
40670	公衆衛生学	① 少子・高齢化を含む人口問題、保健統計の意義 ② 疫学調査法・産業労働衛生 ③ 感染症及び精神衛生の現状 ④ 生活習慣病とその予防 ⑤ 地球環境の対策 これらの課題について健康的な質の高い人生を享受する方法を追及する。
40740	診療報酬請求事務Ⅰ	診療行為別の点数算定方法とその解釈のうち、処置、手術・輸血、麻酔、検査、画像診断、医学管理、在宅、入院の各区分を理解する。
40741	診療報酬請求事務Ⅱ	診療報酬点数算定の解釈の理解を深める。 外来および入院カルテからレセプトを手書きで作成する技能を身につける。
40746	医事コンピュータ演習	医事コンピュータソフトウェアを用いた窓口会計処理およびレセプト作成処理の操作方法を身につける。
40739	医療秘書実務実習	医療機関においての医療秘書・医療事務に関する業務を体験し、研修する。

保 育 学 科

保育学科は、人間関係を大切にす豊かな人格を備え、広い視野から社会に対応し得る実践力を身につけた健全な保育者を養成することを教育目標としています。

本学科では、卒業と同時に幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得することができます。また、希望者には、レクリエーション・インストラクターの資格取得も可能です。そのため、短期大学卒業に必要な単位数に加え、幼稚園教諭二種免許状取得のために、教育職員免許法および同法施行規則に定める単位を、また、保育士資格取得のために、児童福祉法および同法施行規則に定める単位を余分に修得しなければなりません。しかし、学生が短期大学卒業までの二年間で、無理なく専門教育科目を履修し、両免許・資格を取得して卒業できるよう教育課程を編成し、必修科目と選択科目とのバランスおよび講義、演習、実習の授業形態についてもバランスを考えて編成しています。尚、学生の教育科目の履修については、「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」の両者を二年間で確実に取得できるように、入学後のオリエンテーションやホームルームできめ細かい指導をしています。履修年次・取得順を考慮した履修単位表を作成し、時間割はクラス単位で学修できるように配慮しています。

「主要科目の特長」についてであるが、全ての授業についてはシラバスが作成され、それぞれ特長を持った授業が展開されています。シラバス(全学生に配布)には全授業の具体的な講義内容、到達目標、成績評価方法及び基準などが示され、学生の学習意欲向上に繋がる授業展開ができるように配慮されています。

授業担当者はシラバスに沿って授業を進めるため、学生は予習や復習ができ、意欲を持って取り組むことができます。それぞれの授業担当者は、授業に対する学生の反応や理解度を把握し、学生が興味・関心をもって取り組めるよう常に工夫しています。

「音楽」のように同一科目を複数教員で担当する場合は、授業内容や評価について密接に連絡・協力し合う体制が取られています。「音楽Ⅰ・Ⅱ」のピアノの授業で初学者に対しては、特にきめ細かい対応を行っています。ピアノの能力は入学時からすでに個人差があるため、マンツーマンで、且つ各々の学生の能力に応じた習熟度別の授業を実施し、保育現場で指導できるレベルに引き上げるようにしています。

保育学科の学生は二年間を通して学外での実習(幼稚園、保育所、施設)を経験しますが、学生一人一人がそれぞれの実習に自信を持って臨むことができるよう、実習担当者だけでなく、全ての教員が学生の相談に応じるなど、できるだけ学生にかかわるようしており、学科会議などでも協力調整が行われています。

特に、附属幼稚園とは、教育実習の期間以外にも、年間を通して教育実践経験を積む場として連携し、少しでも多く子どもと触れ合うことを通し、豊かな実践力と幅広い見識を持った学生が育つよう努めています。

兼任教員については教務課、学科長を中心として連絡・調整が行われており、さらに個々の授業には本学科の助手が配置されています。

免許状・資格取得に必要な最低修得単位

別表Ⅰ－２ 幼稚園教諭二種免許状〔保育学科〕

基礎資格 (65単位以上)		一般教育科目 …………… 8単位以上 (日本国憲法2単位、情報処理学2単位は必修) 英語 …………… 2単位以上 スポーツ健康科学、スポーツ健康実技 …… 2単位以上 専門教育科目 …………… 53単位以上 (下記の37単位を含む)	
施行規則に定める科目		履修科目	単位
(8単位) 専門教育科目 教科に関する	国語	国語	2
	音楽	音楽Ⅰ	2
	図画工作	図画工作	2
	体育	体育	2
施行規則に定める科目		履修科目	単位
専 門 教 育 科 目 教 職 に 関 す る 専 門 教 育 科 目 (29 単 位)	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	教育職の研究 2
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理 2
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	教育心理学 2
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	保育制度論 1
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	保育計画論 2
		保育内容の指導法	保育内容総論 2
			健康(指導法) 1
			人間関係(指導法) 1
			環境(指導法) 1
			言葉(指導法) 1
			表現(指導法) 1
			保育内容(子どもと環境) 1
			保育内容(子どもの生活と遊び) 1
	保育内容(子どもの文化と表現) 1		
保育指導論 2			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論 1	
生徒指導・進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児の理解と教育相談 2	
教育実習		教育実習 4	
		教育実習事前・事後指導 1	
教職実践演習		保育・教職実践演習(幼稚園) 2	

免許状・資格取得に必要な最低修得単位

別表Ⅲ 保育士資格〔保育学科〕

系 列	授 業 科 目	必 修	選 択	
一般教育科目		8		
外国語	英 語	2		
体育	スポーツ健康科学・スポーツ健康実技	2		
専 門 教 育 科 目	理解に関する科目 保育の本質・目的の	社 会 福 祉	2	
		社 会 福 祉 援 助 技 術	2	
		児 童 福 祉	2	
		児 童 福 祉 演 習		2
		保 育 原 理	4	
		養 護 原 理	2	
	理解に関する科目 保育の対象の	教 育 心 理 学	2	
		発 達 心 理 学 I	2	
		発 達 心 理 学 II		2
		発 達 心 理 学 III		2
		臨 床 心 理 学		2
		小 児 保 健 I	2	
		小 児 保 健 II	2	
		小 児 保 健 実 習	1	
		小 児 栄 養	2	
		精 神 保 健	2	
	家 族 援 助 論	2		
	理解に関する科目 保育の内容・方法の	保 育 内 容 総 論	2	
		健 康 (指 導 法)	1	
		人 間 関 係 (指 導 法)	1	
		環 境 (指 導 法)	1	
		言 葉 (指 導 法)	1	
		表 現 (指 導 法)	1	
		保 育 内 容 (子 ども と 環 境)		1
		保 育 内 容 (子 ども の 生 活 と 遊 び)		1
		保 育 内 容 (子 ども の 文 化 と 表 現)		1
		家 庭 管 理		2
		乳 児 保 育	2	
	基礎技能	障 害 児 保 育	1	
		養 護 内 容	1	
		音 楽 I	2	
		音 楽 II		2
		音 楽 III		2
図 画 工 作		2		
実 保 育 習	体 育	2		
	国 語	2		
	保 育 実 習 I	5		
	保 育 実 習 II	2		
保 育 実 習 III				
総合演習	保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	2		
※ 保育士資格取得は、上記の必修科目及び選択科目 (3単位以上) 合計72単位以上が必要です。		69単位	3単位以上	
		合計72単位以上		

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
11000	哲学	神と世界、自由と不死性といった伝統的な哲学の問題の基礎的な理解を通じて、人生を見つめる、より広くより深い精神的背景を身につけること。
11100	心理学	1. 「心とは何か」という問いに対して、講義内容をもとに自分なりの答えを見つける。 2. 心理学がどのように社会に貢献しているのかについて理解する。 3. 性格検査などを通して、自己理解を深める。
11200	美術	1. 美術作品を深く味わい、テキストと配布資料から作者や作品の時代背景について興味を持って調べる。 2. 作品に対して主体的な意見を持ち、口頭と記述によってそれを伝える。 3. 作品鑑賞を通して自分自身を見つめ、思考の変化について考察する。
11300	国語	敬語、文法、語彙、文字・表記、新しい表現、表現技巧等の基礎を見直し、言葉を適切に表現し物事を正確に理解する能力を養成し、言語能力や表現能力の向上を図る。また、国語を通して思考力や想像力を伸ばし、感情を豊かにすることがこの授業の目標である。
11400	文学	文学鑑賞、創作を通して、文学に親しむこと、豊かな感性の養成、読解力や表現力などの国語力の習得を目標とする。 短歌、俳句、詩を中心に鑑賞、創作を行う。また同時に、表記や表現、文学史、小論文作成などの国語学習も行う。
12100	日本国憲法	なるべく身近な話題から、根本的なルールについて考えていく。
12200	社会学	現在の社会のナマの現象を分析、その歴史を通じて将来のあるべき姿を探る。「少子高齢化」「階層変動」などをキーワードとして、考えていく。
12300	文化史	日々の生活の中で、私たちが何気なく見過ごしにしている様ざまな日本の文化にスポットライトをあてて、その歴史をたどる。
13100	情報処理学	本講義の目標は、「コンピュータを日常生活や仕事の中で有効活用するための基礎知識を身に付ける」こと。 幼児教育活動で利用が予測されるアプリケーションソフトウェアの実践的活用ができるように、実習課題では教育現場に即した課題の内容を想定。
13200	人間科学	「人」とは何かという問題に科学的に取り組んでみる。人間の幸福とは何かについても考える糸口として戴きたい。
13400	化学	1. 元素、原子、分子、無機物と有機物について概要を説明することができる 2. 遺伝子の役割を含む生命現象について基本となる概略を説明できる 3. 食品と各種栄養成分の生理機能について説明することができる 4. 成長と心身の健康、病後のリハビリテーションにとっての食の意味を考察し将来の保育活動に応用できる
13700	地球と生命	・自然科学の考え方、方法を理解し、自然科学(地球惑星科学)に関するさまざまな基礎知識を習得する。 ・地球の環境を保護し、維持することの重要性、及び命の大切さについて自主的に考える能力を身につける。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
14200	国際理解	隣国の韓国の文化に触れることによりグローバル的視野と国際的感覚を持った人材を育成することを目的としている。
20100	英語	1: 自然なスピードの英語に慣れる。 2: 基本的な文法事項を習得する。 3: 映画を通じて、異文化に興味を持ち、理解する姿勢を養う。
30101	スポーツ健康科学	1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる。
30201	スポーツ健康実技	1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる。
40405	音楽Ⅰ	音楽Ⅰでは、音楽的基礎技術を身につけると共に音楽的能力と表現力並びに音楽的感性を高め、音楽の基礎技能として総合的に学習することが重要である。特に、子どもの発達段階に応じた音楽表現に関する基礎的な知識と技術を修得することを目標としている。
40410	音楽Ⅱ	音楽Ⅱでは、音楽Ⅰで身に付けた音楽的能力と表現力並びに音楽的感性を現場において音楽的表現活動がスムーズに行われるような技術能力を高めることが重要である。特に、子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現を結びつける遊びの展開を学ぶことを目標とする。
40411	音楽Ⅲ(ピアノ奏法)	音楽Ⅲでは、現場において子どもたちに対し音楽の楽しさ・面白さを伝えるため、ピアノを通して有意義な表現活動ができるために必要なピアノ奏法を学ぶことを目標とする。
40415	音楽Ⅲ(合唱)	音楽Ⅰで身に付けた基礎的音楽技術と音楽的表現力や音楽的感性を、現場での活動や歌や遊びに具体的な形で活用できる。指導者の立場を経験するため、学外で実施する演奏会の企画・構成し、自ら演奏することで、指導者の立場を経験し、自己の責務を果たすことができる。子どものさまざまな活動や経験を支援でき、歌や遊びに豊かな音楽表現が展開できる感性と表現力が身につく。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40417	音楽Ⅲ(わらべ歌と劇音楽)	音楽Ⅲ(わらべ歌と劇音楽)では、音楽Ⅰ、音楽Ⅱの音楽基礎技術をさらに活かし、子どもの表現・感性を自然に表現出来る援助の方法修得し、最後に発表も行う。 また、企画・運営・演技指導を実際に体験しながら現場で必要とされる裏方の動きを学び、その技術を修得することを到達目標としている。
40416	音楽Ⅲ(合奏)	ソルフェージュをはじめ、各種楽器の奏法・指揮法・簡単な編曲法等の技術的な内容を、リズムあそびや楽曲を完成させる過程において、実践を通して修得する。その中で、楽器を奏でる楽しみや、アンサンブルする喜びを体感し、保育者として豊かな感性や表現力の向上を図る。 また、大学祭において演習の成果を発表する他、音によるコミュニケーションの取り方や、幼児の合奏について、年齢別による指導法を具体的に考える。
40420	図画工作	1. 自然などの身近な環境から得た発見や感動を、工夫しながら色と形で表現する。創作の過程の心情を見つめ、表現の喜びを味わう。(描画表現・立体表現) 2. 自分の気持や想像したことを、工夫しながら色と形で表現する。創作の過程の心情を見つめ、表現の喜びを味わう。(描画表現・立体表現・総合的表現) 3. 子どもの造形表現の発達についての基本を理解し、子どもからの伝達に共感しながら援助してゆく実践の準備をする。 4. 一人で表現するだけでなく、仲間と目的を設定して話し合いながら計画的に造形表現し発表する。 5. 造形表現に用いる様々な材料・用具・技法に親しみながら理解し、工夫しながら実際の表現に用いる。 6. 表現された作品を見ることを楽しみ味わいながら、新たな表現につなぎ、その作品を用いて遊びを展開する。
40425	体育	心豊かな保育者として、子ども達のお手本となる健康なからだと豊かな表現力を身につけ安全な生活を営むために必要な知識や能力の向上を図る努力をする。運動の重要性を理解し、特色ある授業内容として「天野式リトミック」を習得し、リトミックの基本を運動あそび(ボール、輪、縄跳び、マット運動、跳び箱、平均台)や表現あそび(動物や乗り物の模倣運動、基本のリズムで季節の歌に合わせて動く)に展開する。リズムと運動、健康の繋がりを理解し、楽しく動くことを子ども達といっしょに継続し、実践できる、魅力的な内容を考える。
40431	国語(教職)	1. 幼児期における望ましい言葉の指導法を、幼稚園教育要領「言葉」領域のねらいや、小学校国語科の目標・内容との関連から理解させる。 2. 人間形成に資する読書(児童文学)の役割の重要性を認識させ、絵本・物語を「語り聞かせ」、「よみきかせ」とともに、幼児期における読書指導の方法を理解させる。 3. 児童文学の歴史と現状を理解させるとともに、児童文学における名作を紹介し、児童文学への興味・関心を喚起する。
50005	教育職の研究	1. 保育の場における教職の意義とその役割及び職務内容をあらゆる角度から検討し、保育現場に即した指導力を養う。 2. 保育者としての学習目標や計画を考察し、自らの課題を明確にできる。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
50010	教育原理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義や目的について、理解できる。 2. 欧米の教育理論が、日本の幼児教育の分野に大きな影響を及ぼしていることを理解できる。 3. 教育内容や教育方法には、相対立する二つの考え方があり、それぞれのよさを生かすことが実践課題であることを理解できる。 4. 生涯学習社会では、全ての人が全生涯を通して学習に取り組むライフスタイルの確立が重要であることを理解できる。
50030	教育心理学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習行動のメカニズムについて理解し、効果的な学習指導の方法についての知識と技術を身に付ける。 2. 子どもの学習や教師の指導法についての正しい教育評価の方法を身に付ける。 3. 発達障害とその教育支援のあり方を理解する。
50040	保育制度論	公教育の原則及び法制度的な理念に関する用語を理解し、現実の教育問題を制度論的な視点から考察することを身につける。
50060	教育方法論	これからのニーズに合った保育方法の重要性を学びながら、学生自身、子どもの生活について理解できる力、子どもの一人ひとりの意欲を引き出せるための保育方法を学び修得する。
50210	保育計画論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解する。 2. 教育課程や保育課程の編成と指導計画の作成について具体的に理解する。 3. 計画、実践、省察・評価、改善の過程についてその全体構造を動的にとらえ、理解する。
50220	保育内容総論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針や幼稚園教育要領をもとに「保育の目標」、「保育の基本」「子どもの発達」「保育の内容」を関連付けて、保育内容を理解するとともに保育の構造全体を理解する。 2. 保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解を深める。 3. 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程を踏まえ、保育内容と子ども理解について学ぶ。
50241	健康(指導法)	保育者として子ども自ら健康で安全な生活を作り出す力を修得する。
50251	人間関係(指導法)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの視点から人とのかかわりをとらえ、常に子どもの最善の利益のために生活や遊びを総合的に援助できるような保育士の姿勢が身に付いている。 2. 保育所保育指針における保育原理や保育内容を通して、保育の基本や本質の姿勢が身に付いている。 3. 子どもとの基本的信頼感の確立に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。
50281	言葉(指導法)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児の生活の場面や保育現場での言葉の獲得を援助できるようにする。 2. 言葉の発達の側面から言葉の機能を習得し、保育者としてのかかわり方について理解を深める。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
50271	環境(指導法)	1. 領域「環境」に示されている「ねらい」や「内容」等について、その基本的な考え方を他の領域との相互の関連性を踏まえながら理解する。 2. 子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うための領域「環境」に関係する多くの活動事例を学び、その指導法について理解する。 3. 保育者として知っておいて欲しい身近な動物、植物及び自然事象などの自然環境についての知識を身につけることができ、それらに興味、関心を示すことができる。
50291	表現(指導法)	保育者としての表現力、想像力を育てていくための指導方法を演習する
50301	保育内容(子どもと環境)	幼児期の子供に関わり、集団という場で共にくらす保育者として、今、子供に何が必要なのか、何を保障し支えなければならないのか等、子供にとっての身近な環境について認識を深めることが大切であり、具体的な実践例を取り入れて演習しながら、質の高い保育者を育てたいと考える。
50311	保育内容(子どもの生活と遊び)	保育者として、生活と遊びの意味や本質に関する認識をより一層深めると共に子供の考えや願いを捉えそれを生かし保育に展開していく方法や、保育者として心に留めておくべき課題について演習しながら、保育現場で力を発揮する保育者を育てていく。
50321	保育内容(子どもの文化と表現)	1. 子どもの文化とは何か、歴史的変遷を通して教育的意義や今の子どもの文化の現状をについて理解する。 2. 子どもの発達過程に適した伝承遊びの実践と指導法について学ぶ。 3. 子どもの感性や表現力を育てる教材を製作するとともに、その指導案づくりをして保育に生かす方法を学ぶ。
50330	保育指導論	1年生で修得した教育方法に接続させた、保育指導論を学ぶことにより、保育現場に即した指導力のある保育者を育てたいと考える。
50230	幼児の理解と教育相談	保育者、教育者、または家庭での養育者として密接に子どもにかかわる者にとって、幼児の理解のための有益な知識や観点を学んでいけるように、具体的な事例を通しながら学習を積み上げていきたい。さらに、子育て支援のためのカウンセリングマインドを養うための基礎的な知識を学び、保育、教育現場での教育相談等をおこなっていけるような資質を高めていきたい。
50134	保育・教職実践演習(幼稚園)	子どもたちを保育するものとしての資質能力を確認する
50911	教育実習事前・事後指導	教育実習に望む心構えと態度、教師の援助の意味、教育実習日誌の書き方、まとめ方等の教育実習に関する内容を学ぶ
50921	教育実習	学外実習にあたって、実習への心構えや態度、準備等について学ぶ
40506	乳児保育	保育に必要な生理・発育発達と日常生活の管理などを理解させさらに乳児を取り巻く諸問題を挙げ乳児保育がいかに重要であるかを学ばせる。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40586	障害児保育	一般保育と障害児保育との連続性に気づかせ、一人一人の発達上の課題に対する特別な保育ニーズと支援、理念に関する理解を深め、併せて、保育所、障害乳幼児通園施設等での保育の変遷と現状、及び今後の課題、個別的な保育上の留意することを理解する。障害児保育場面における、日常生活動作、食事動作、排泄動作、更衣動作など具体的な保育方法についてや相談機関などの種類と内容を理解すると共に、障害児への個別的な援助の概略と保護者を中心とした支援の内容に関して理解を深める。
40461	養護内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理についての姿勢が身に付いている。 2. 児童福祉法に触れながら、個々の児童に応じた支援計画を作成して、日常生活の支援、治療的支援、自立支援等の内容について身に付いている。 2. 目標を定め実施のための計画を立て、ソーシャルワークの方法と技術について適切に行動することができる。 4. 社会的養護を通して、家庭支援、児童家庭福祉の目的や状況に応じた適切な言動をとることができる。
40545	社会福祉	現代社会における社会福祉の全般について理解する。具体的には、意義、理念、法体系、制度及び行財政、福祉専門職、関連領域等について理解する。
40551	社会福祉援助技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な福祉制度やサービスを活用し、ケアの提供を行うことを通して、個人及び家族の生活困難や生活問題を解決・緩和しより人間らしい暮らしを実現することを目指す姿勢が身に付いている。 2. 対象、過程、技術・アプローチについて学び、本質である信頼感や安心感がどのように相談援助の方法と技術に係わっているか理解することができる。 3. 保育者として、計画・記録・評価・関係機関との協働、多様な専門職との連携、社会資源の活用、調整、開発に対する姿勢が身に付いている。
40555	児童福祉	児童福祉の意義及び歴史的展開過程、法律、制度、福祉機関・施設を体系、サービスの現状と課題、専門職としての保育士の役割、児童、家族に対する相談援助活動について理解する。
40560	児童福祉演習	児童福祉について、演習、見学、レポート発表を通して深く理解する。 保育園実習、幼稚園実習における「気になる子」の事例発表、施設実習における処遇困難児・者の事例発表を通して、具体的に理解する。
40441	保育原理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の意義や目的、保育所保育の特性について理解できる。 2. 子どもの発達と保育の内容について知ると共に、保育の形態について理解できる。 3. 教育課程や保育課程と指導計画について学び、それに盛り込むべき内容や編成の手順を理解できる。 4. 幼稚園や保育所等の保育にあたっては、家庭や小学校、地域との連携が重要であることを理解できる。 5. 幼稚園や保育園の成立や発展について理解するとともに、その現状と課題を理解できる。
40451	養護原理	社会的養護が必要となる養護問題の現状や拝啓など体系や児童福祉施設などの役割について、養護の実際、保育士の役割や援助について理解する。また、児童観や施設養護観を持つ。
40565	発達心理学 I	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児期から老年期に至るまでの生涯発達の基本概念について理解する。 2. 特に乳幼児期、児童期(子ども時代)の発達について心身両面から理解する。 3. 発達を促進する保育者の関わりについて学ぶ。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40570	発達心理学Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期～児童期にかけての子どもの発達について理解する。 2. 特に愛着の発達, 言葉の発達, 絵の発達, 社会性の発達といった側面について理解し, 発達を援助するスキルを身に付ける。 3. 愛着の障害を生む, 児童虐待の問題について保育者として何ができるかについて学ぶ。
40575	発達心理学Ⅲ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青年期～老年期を中心に, 発達の概要とそれぞれの時期の発達課題を理解する。 2. エンカウンターグループを通して保育者としてのキャリアについて考え, 職業選択を含む自分らしい生き方(キャリアデザイン)を構築する。 3. 病気や死について考え, 介護が必要な方に向き合う姿勢について考える。
40580	臨床心理学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不登園児のこころを理解し, 必要に応じて専門機関と連携しながら具体的に支援することができる。 2. 子ども同士のトラブルの理解の方法を身につけ, 実際に対応することができる。 3. LD・ADHD・高機能自閉症(アスペルガー症候群を含む)の子どもの理解と支援を行うことができる。 4. 心身症や習癖のある子どものこころを理解し, 対応することができる。 5. 虐待を受けている疑いのある子どもを早期に発見し, 専門機関と連携しながら対応することができる。 6. 心理検査についての基礎的な知識を身につけ, 子どもの心を理解するための新たな視点を得る。 7. 心理検査を体験し, その結果を自ら解釈することにより自己理解を深める。 8. カウンセリングの知識と技能を身につけ, 子どもと保護者に対して支援を行なう際のヒントを得る。 9. カウンセリングの諸技法を理解し, 自らの心のセルフケアに役立てることができる。
40520	小児保健Ⅰ	<p>子供の健康なからだと豊かな心が育つ, またその無限の能力と未来性を引き出す。そして幸せに生きていく力と社会の中で通用するのに必要な基本条件であると認識し, 保育士として基礎知識を修得する。</p>
40521	小児保健Ⅱ	<p>小児の成長・発達過程を理解し, 安全な保育ができる様に保育に関する基礎的な知識を十分に身につける。</p>
40525	小児保健実習	<p>小児保健で修得した知識に基づいて保育現場で保育士として, 保健衛生に関する実践が行えるように学習する。</p>
40531	小児栄養	<p>栄養・発達と発育・食品の知識・生理学・調理などを心身の発達段階に応じて学ぶことを目的としています。又即戦力として生かせるように課題、演習問題を多く取り入れ実践力をつけていきたい。</p>
40540	精神保健	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心の健康とは何かについて理解する。 2. 子どもの心や行動上の障害, 病気, 問題行動について理解し, 見立てる力を身に付ける。 3. 保育者がおこなうべき精神保健活動について理解する。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40541	家族援助論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族支援の仕組みそのものが、さまざまなかかわりの中で機能することを理解し、子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解する姿勢が身に付いている。 2. 保育者は子どものみならず個別の家庭環境を考慮して子育て不安や不満といった悩みの解決を図っていかなければならない意志を持ち、自己の責務を果たすことができる。 3. 法や相談機関を深く学び、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携について理解する姿勢が身に付いている。
40465	保育実習Ⅰ／事前・事後指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や子どものかかわりを通して子ども理解を深める。 3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の職務内容、役割分担、チームワークの理解と職業倫理について具体的に学ぶ。
40470	保育実習Ⅰ／保育所	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 2. 観察や子どものかかわりを通して子ども理解を深める。 3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 5. 保育士の職務内容、役割分担、チームワークの理解と職業倫理について具体的に学ぶ。
40475	保育実習Ⅰ／施設	<p>児童福祉施設の目的、機能、内容、利用者について、体験実習を通して理解する。実習前に学んだ保育士に関する科目を施設現場で確かめ応用力を身に付ける。保育士の職務内容、職員間の役割分担、チームワーク、職業倫理について理解する。</p>
40480	保育実習Ⅱ(保育所)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の保育を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を修得する 2. 既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て、保護者支援について総合的に学ぶ 3. 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める 4. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結び付けて理解する 5. 保育士としての自己の課題を明確化する。
40485	保育実習Ⅲ(施設)	<p>児童福祉施設(保育所以外)、その他社会福祉施設の養護を実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身に付ける。</p>
40805	保育研修	オリエンテーション中に説明する
40980	レクリエーション概論	レクリエーションインストラクターの資格を取得する
40981	レクリエーション実技	レクリエーションインストラクターの資格を取得する

食物栄養学科 《履修モデル及び主要科目の特長》

食物栄養学科の学習指針

[私たちの目標]

2年間の学びを通じて習得した知識や技術を、実社会で積極的に応用し発展させることのできる勇気と知性にあふれる実践力を養成するとともに、社会での人と人とのふれあいを大切にする愛と親和の心を育むことを目標に取り組んでいます。いずれも私たち食物栄養学科がめざす社会での自立に向けたキャリア教育であり、専門職としての資質を保障する取り組みです。

[めざす免許・資格と取得要件]：栄養士免許・栄養教諭二種免許・フードスペシャリスト・医療秘書実務士

これらの免許・認定資格はいずれも栄養士免許取得に求められる専門科目のすべて（栄養教諭）あるいはその一部（その他の認定資格）の科目の履修が必須となっています。従って食物栄養学科のカリキュラムは栄養士免許の取得要件を基礎に編成されています。いいかえれば栄養士免許は私たち食物栄養学科への入学生全員に取得をめざしていただいています。その結果、例年卒業時の就職内定者の70%以上が栄養士の資格で就職しています。

[主要科目と履修モデル]：科目の詳細は「食物栄養学科履修単位表」、その授業内容は「シラバス」を参考にしてください。

- 一般教養科目のうち「日本国憲法」および「情報処理学」は栄養教諭免許の必修科目です。
「心理学」および「生物学」は医療秘書実務士に必修科目となっています。また卒業要件として他の教養科目を含め4科目（合計8単位）以上の履修が必要です。
語学では「英語」、体育系科目の「スポーツ健康科学 講義・実技」も栄養教諭および卒業要件として履修が求められます。
- **栄養士の養成課程に課せられる専門教育系の科目はすべて厚生労働省より指定されたカリキュラムにもとづいて履修することになります。そのカリキュラムは大きく6つの領域に区分され、次のように各区分ごとに履修すべき主要専門科目が配置されています。**
 1. **社会生活と健康**：公衆衛生学、社会福祉概論
 2. **人体の構造と機能**：解剖生理学 講義Ⅰ、Ⅱ、解剖生理学実験、生化学、生化学実験、運動生理学
 3. **食品と衛生**：食品学、食品学実験、食品加工学、食品衛生学、食品衛生学実験
 4. **栄養と健康**：栄養学総論、栄養学各論、栄養学実習、臨床栄養学Ⅰ、Ⅱ、臨床栄養学実習
 5. **栄養の指導**：栄養指導論、栄養指導実習、公衆栄養学
 6. **給食の運営**：調理学実習Ⅰ、Ⅱ、給食管理、給食管理実習Ⅰ、Ⅱ（学外実習）

このほかに私たち食物栄養学科では「微生物学」（食品衛生学および公衆衛生学関連科目として）、「臨床検査データ解析」（解剖生理学および臨床栄養学関連科目として）、「コ

ンピュータリテラシー」および「情報処理学演習Ⅰ」（いずれも社会的要請に依りて）を必修科目として開講し専門科目の理解を深める一助としています。

学外で実施される「給食管理実習Ⅰ,Ⅱ」は卒業後の希望進路から保育園、小学校、養護老人ホーム、企業の社員食堂、病院栄養部などの施設から2施設を選択します。

- **栄養教諭**の免許は栄養士免許を取得することが大前提です。ですから上記 栄養士に求められるすべての専門科目を履修することになります。加えて教育職としての専門科目、食事指導や栄養教育（食育）に関係する専門科目を学びます。

平成 17 年 4 月にスタートした栄養教諭制度は、子どもたちが将来にわたって健康に過ごせるように正しい食事の摂り方の指導や食物アレルギー・肥満などの個別的な指導、学校全体の指導計画の作成、食育推進、学校・地域社会・家庭の連携・調整を進めるなどの役割が期待されています。なおカリキュラム上、栄養教諭免許と医療秘書実務士資格の同時取得（履修）はできません。

- **フードスペシャリスト資格**の取得は（社）日本フードスペシャリスト協会が主催する認定試験に合格することが必要です。その受験資格は同協会が指定する栄養士免許の取得に必修の専門科目の一部とフードスペシャリスト専門科目（4科目）の履修が求められます。

- 栄養士専門科目：食品学、食品学実験、食品衛生学、食品衛生学実験、食品加工学、栄養学総論、栄養学各論、調理学、調理学実習Ⅰ,Ⅱ

- フードスペシャリスト専門科目：フードスペシャリスト論、食品流通論、フードコーディネーター論、食品の官能評価・鑑別演習

本学科では毎年 30 名前後の 2 年生が受験し、例年 70%を超える合格率です。

- **医療秘書実務士**の資格取得をめざして例年 7 割近くの多くの在学生在が下記指定された履修科目を受講しています。その履修科目は栄養士の専門科目の一部、医療事務・病院組織に関連する専門科目に加え、受付業務を含む病院事務部門での学外実習が求められます。

- 栄養士規定科目：公衆衛生学、社会福祉概論

- 情報処理関連科目：コンピュータリテラシー（演習）、情報処理学演習Ⅰ,Ⅱ（演習）、

- 病院事務関連科目：病院管理学、医療事務概論、診療報酬請求事務Ⅰ,Ⅱ（演習）、医療秘書実務（演習）、医療秘書実務実習（病院実習）

- その他の専門科目：臨床検査データ解析、薬理学

例年 受講者の 20 数%が医療秘書実務士の資格を得て病院、診療所などに就職しています。

[学びを支える私たちの取り組み]

私たち食物栄養学科では、合格通知を手にされた時からの入学前教育、そして入学後のキャリア形成に向けて上記さまざまな目的、希望を抱いての学びを支援する取り組みを進めています。

- **学びに備えて：**食物栄養学科への合格通知を受けられた入学志願者の皆さんに、入学までの期間を通じて入学後の授業への理解そして在学期間を通じての栄養士としての自覚と社会的役割への認識を深める支援を行います。この期間は大学そして研究室への訪問も大歓迎です。有益な体験の機会となることでしょう。
- **学びを深めるために：**日々の授業で理解が十分に進まなかったときのために、担当する先生の研究室を訪問して理解を深めるためのオフィスアワーを各先生に設定していただいています。遠慮なく積極的に訪問し、授業への興味を膨らませる機会にさせていただきたいと願っています。
- **学びの成果を高めるために：**巣立ちゆく（卒業）前に（社）全国栄養士養成施設協会が主催する「栄養士実力認定試験」の受験をめざして2年次より毎月1度その模擬試験を実施し、学びの成果を高めゆく取り組みを進めます。同協会から発表される受験（評価）結果はさまざまな目的で準備する履歴書に記載することによって有益な自己PRとなることでしょう。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
11100	心理学	1. 「心とは何か」という問に対して、講義内容をもとに自分なりの答えを見つける。 2. 心理学がどのように社会に貢献しているのかについて理解する。 3. 性格検査などを通して、自己理解を深める。
11200	美術	1. 美術作品を深く味わい、テキストと配布資料から作者や作品の時代背景について興味を持って調べる。 2. 作品に対して主体的な意見を持ち、口頭と記述によってそれを伝える。 3. 作品鑑賞を通して自分自身を見つめ、思考の変化について考察する。
11300	国語	敬語、文法、語彙、文字・表記、新しい表現、表現技巧等の基礎を見直し、言葉を適切に表現し物事を正確に理解する能力を養成し、言語能力や表現能力の向上を図る。また、国語を通して思考力や想像力を伸ばし、感情を豊かにすることがこの授業の目標である。
11400	文学	文学鑑賞、創作を通して、文学に親しむこと、豊かな感性の養成、読解力や表現力などの国語力の修得を目標とする。
12100	日本国憲法	なるべく身近な話題から、国を運営していく仕組みについて考えていく。
12200	社会学	政治、経済、文化などの領域から、幾つかの命題を選んで、対象の歴史や分析を通して、あるべき姿を探る。
12300	文化史	日々の暮らしの中で、私たちが何気なく見過ごしてしまっている様々な日本の文化にスポットライトをあてて、その歴史をたどる。
13100	情報処理学	教育活動、栄養指導活動で利用が予測されるアプリケーションソフトウェアの実践的活用が出来ることを目標とする。
13200	人間科学	「人」とは何かという問題に科学的に取り組み、人間の幸福とは何かについても考える糸口として戴きたい。
13300	生物学	親から生まれる子としての存在、すなわち遺伝子の振る舞いとしての生物存在を理解しましょう。
14200	国際理解	隣国の韓国の文化に触れることによりグローバル的視野と国際的感覚を持った人材を育成することを目的としている。
20100	英語	英文読解に際し、まず正確に原文を音読できること。その上で内容を正確に理解し、余裕があればそこで採られた表現方法を意志伝達の実際に使用できるようになること。
30101	スポーツ健康科学	1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
30201	スポーツ健康実技	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的な姿勢と態度で取り組むことができる。 2. 仲間とコミュニケーションを取り、強調することができる。 3. 自ら課題を発見し、解決することができる。 4. 体力測定を通して、自らの身体について理解することができる。 5. 運動、栄養などの健康に関する知識を理解し、自らの健康管理をすることができる。
50005	教育職の研究	<p>教職のあるべき姿と必要とされる資質・能力及び適性について深く理解することを第一義的な学習目標とする。それぞれの理想的教師像を追求する中で様々な教育学的視座を設定し、教職に不可欠な豊かな心と専門性の確立とは何かを探求しながら、実際に栄養教諭として果たすべき具体的な役割を認識し、今日の社会環境における教師としての職業意識の醸成を目指す。</p>
50010	教育原理	<p>人間的事象としての教育作用の始まりから成立までの過程を教育学的に分析し深く教育の本質について探求することを第一義的な目標としている。人類社会における長い教育の歴史を知り、様々な陶冶の過程やその哲学的な意味を学びながら、教育の現場における諸問題や教育愛のあるべき姿など現実的且つ具体的なテーマを通して、教職を目指す学生としての自らの教育的視座を確立することを目途としている。</p>
50030	教育心理学	<p>学習行動のメカニズムについて理解し、効果的な学習指導の方法についての知識と技術を身に付ける。子どもの学習や教師の指導法についての正しい教育評価の方法を身に付ける。発達障害とその教育支援のあり方を理解する。</p>
50035	教育制度論	<ol style="list-style-type: none"> 1. わが国の教育制度の変遷について理解する。 2. 栄養教諭の役割について理解する。 3. 教育目標の変遷について理解し、現在の教育目標と教師の役割を理解する。
50060	教育方法論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導案を作成することができるようになる。 2. 効果的、かつ具体的な指導方法についての知識、技術を身に付ける。 3. 教育実習に向けて、模擬授業をおこなうことができるようになる。
50065	教育課程論	<p>教育課程編成の基本原理として、体系性・順次性並びに教育目標を達成するための教育課程の編成及び、子どもの論理と教科の論理に立つ教育課程の編成について理解し、教科の構造・体系及び子どもの発達・学習のレディネスに即した教育課程を編成しようとする態度を形成する。</p> <p>国家基準としての学習指導要領に則しながら、地域性や学校の歴史性、子どもの実態や保護者の願いなど地域に根ざした教育を実現するために、学校独自の教育目標に立つ教育課程の編成について、特に食に関する指導の全体計画案編成の手順や各領域（教科、生活科、道徳、特別活動、給食指導、総合的な学習の時間など）の特質を生かした教育課程編成の方法について理解し、一部特定領域の教育課程編成を試行する。</p>

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
50080	道徳教育の研究	道徳性の欠如が憂慮されている現実に目を向け、児童・生徒に望ましい道徳的心情や価値観を身につけ、道徳的実践力を高めさせるには、どのような活動を積み重ねればよいか考えさせ、更にそのうえにたつて、道徳教育の指導案の作成をする。
50090	特別活動の研究	学級活動、児童・生徒会活動、学校行事等の体験活動の中で優しさ、達成感、模範意識等の人間の充実感や豊かさの育成を図る。
50101	生徒指導の研究	自己発見、自己受容、他者発見、個と個、個と集団との関係、自己の人生の生き方および、職業観や進路指導、児童生徒の人間学的理解に立った指導・援助の在り方について考察する。また現実の問題として、多発する子どもの問題と、その対応についても在り方を考察する。
50120	学校カウンセリング	1. 校務分掌とそこでの教育相談の位置づけ、役割について理解する。カウンセリングの理論と技法について理解し、ロールプレイを通じて実践できるようになる。 2. 児童生徒の様々な心、行動の問題について理解する。
50135	教職実践演習（栄養教諭）	教員、特に栄養教諭が果たすべき社会的役割について理解し、自分が目指す教員像を描く教員に求められる子どもや保護者とのコミュニケーション能力、他の教員との連携の能力、及び倫理観を身につける。栄養教諭としての教材研究、授業実践に関する能力を身につける。
50950	児童・生徒の栄養指導	栄養教育の概念と定義。栄養教育と栄養指導の定義。1. 栄養教育の意義、「栄養教諭」創設の経緯、[食に関する指導]と栄養教諭。栄養教諭制度の概要、栄養教諭に期待される役割、栄養教諭の資質の確保、栄養教諭と管理栄養士・栄養士との関係 2. 教科等と「食に関する指導」全体的な計画の作成。（給食時間における食事の指導・サービス）等 現場（小学校）実習において、児童生徒に教科、学習指導要領に基づいた授業時間と実態について、栄養や食に関する内容との関連を学ぶための知識を育むことを目標にする。
50960	栄養教育実習事前・事後指導	*事前指導(2年次前期)：栄養教諭教育実習の準備 ・教育実習校への依頼(①教育実習校の選定場所、指導者)(1年次5月～9月内諾) ・教育実習校への正式依頼2年次4月～5月 ・教育実習校への事前訪問2年次7月～9月 ・栄養教育実習の意義や目的、 ・教育実習生としての心構え等の他、教育実習開始までに準備する事柄 ・授業参観の要点・給食指導の実際 ・実習の評価の方法、実習後の提出物(実習ノートや指導案など)実習中の大学との連絡方法等について指導等 *実後指導：実習の反省、問題点の整理、今後の課題の明確化等

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
50970	栄養教育実習	<p>教育実習先において児童・生徒に食に関する指導を学級活動や家庭科、体育科等の科目で指導を行なう。</p> <p>食に関する指導の目標</p> <p>【食事の重要性】食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。</p> <p>【心身の健康】心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。</p> <p>【食品を選択する能力】正しい知識・情報に基づいて、食品の品質および安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。</p> <p>【感謝の心】食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。</p> <p>【社会性】食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。</p> <p>【食文化】各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。</p>
40670	公衆衛生学	幅広い学問である公衆衛生学の課題について、健康的な質の高い人生を享受する方法を追及したい。
40710	社会福祉概論	講義は介護保険を中心にし、併せて福祉・介護ビジネスの現状について、今日の社会福祉の視野を広げていきたいと考えている。
40604	解剖生理学Ⅰ	人体に関する解剖学、生理学の基本的な理解を目指す。
40605	解剖生理学Ⅱ	人体に関する解剖学、生理学の基本的な理解を目指す。
40606	解剖生理学実験	食物のもつ栄養（エネルギー）が、生体内でどのように利用され、利用された結果生じる老廃物をどのように排泄しているかを中心に学ぶ。
40612	生化学	栄養素が体内でどのように働き、どのように体の機能を調整しているかを生化学的に把握する。
40615	生化学実験	生化学とは、生体内における化学反応を学ぶ学問であり、各種の反応を実験をとおして学んでいきます。
40610	運動生理学	運動によって体にどのような変化が生ずるか、その現象としくみについて学び、健康指導の実際に役立つよう理解を深める。
40619	食品学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「食」の意味について考察し独自の概念の構築をめざす。 2. 食物連鎖、ヒトにとって食の確保に向けた歴史的変遷について説明することができる。 3. 人が食品に求める要素を挙げそれを説明することができる。 4. 食品成分を列挙（分類）しその主要な化学的特徴について説明することができる。 5. 食品に特有の物性と生理機能に関与する成分名を挙げることができる。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40625	食品学実験	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実験操作を安全に進める上での留意点を遵守することができる。 2. 実験器材を適切に取り扱う技術、実験試薬を適切に調製する技術を習得する。 3. 食品材料を用いた成分分析の意義について理解を深める。 4. 得られた実験結果について文献値と比較し評価することができる。 5. 実験・調査結果の報告文書（レポート）を適切に作成する方法を理解する。
40663	食品衛生学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品基本法の沿革と理念を理解する。 2. 微生物と食品の変質について理解する。 3. 食中毒と原因微生物・物質の特徴について理解する。 4. 食品添加物の概念と利用について理解する。
40666	食品衛生学実験	基本的な食品衛生検査の手法を理解し、講義で修得する知識の理解を深め、自ら衛生管理を実践できる能力および技能を身に付ける。
40627	食品加工学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品を加工する意義の概略を説明することができる 2. 食品を保存（貯蔵）する目的とその方法を説明することができる 3. 代表的加工食品とその物性・成分との関係を説明することができる 4. 代表的加工食品についてその加工工程の特徴（概略）を説明することができる
40633	栄養学総論	食物と栄養、食生活と栄養素、人体における栄養素の機能と代謝のしくみ、代謝の恒常性を維持する機構、代謝の障害や破綻によって起こる病的状態、栄養状態と健康の評価、栄養投与方法等についての基礎的知識を学習する。
40636	栄養学各論	母体（妊娠中～出産）から新生児～成人までの各ステップの栄養学について理解してもらう。
40639	栄養学実習	各ステージの栄養状況について考え、“食事”として具現化していく。
40649	臨床栄養学 I	臨床栄養学の基礎知識を理解し、病態の理解に基づく食事療法及び栄養管理を学ぶ。
40650	臨床栄養学 II	各種の疾患の病態生理とその食事療法について学ぶ。特に近年増加してきた免疫、アレルギーに関しては、免疫細胞やサイトカインの役割を理解する。また高齢者問題に関し、高齢者が元気に生活するためにその生理と栄養について学ぶ。
40652	臨床栄養学実習 I	臨床栄養学の理論を理解し、疾病別食事療法の重要性を認識し、治療食を作成出来るようにする。 集団給食上の適切な秤量や衛生面での十分な配慮、さらに栄養士としての責務と社会人としての信頼ある行動がとれること。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40653	臨床栄養学実習Ⅱ	栄養成分別コントロールの方法を理解し、治療食の献立作成および調理ができること。また、摂食障害時の調理上の工夫を学び、高齢社会における栄養士としての責任や使命感をもち、責務を果たす姿勢をもつこと。
40642	栄養指導論	人が生きるために必須である「食」についての理解を深め栄養指導の方法とその技術を学び、栄養士の責務を果たす努力を怠らないこと。さらに、栄養指導の対象者との人間関係において信頼性の構築と人間性の向上を目指す。
40645	栄養指導実習	給食管理で理論を修得し理解をした上で、事業所給食の特徴を対象者の性別、年齢、身体活動レベルに応じた適切な食事を衛生的に提供する。栄養教育では毎日の食事を通じて適切な栄養量やバランスを把握するとともに食生活の自己管理能力の向上をさせる献立の作成と実習を目指す。
40654	公衆栄養学	地域や領域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く諸問題に関する情報を収集・分析し、総合的に評価・判定するための基礎知識を習得する。栄養政策、食事摂取基準についても理解する。
40672	調理学	食生活の変遷を学び、現在の日本食が完成した歴史を理解できる。 健康で文化的な生活を営むためには食事内容が重要であることを理解できる。 調理操作には科学的、化学的、物理的な操作が重合して成り立っていることを理解できる。 安全な食べ物は具体的にどのようなものか理解できる。
40675	調理学実習Ⅰ	1. 包丁技術が上達し、献立を見て時間内に段取りよく調理ができる。 2. 実習全体の流れを把握し、優先順位を考えて調理できる。 3. 日本料理、西洋料理、中国料理の調理法や配膳の違いを理解できる。 4. 衛生的に調理操作を進めることができる。
40678	調理学実習Ⅱ	調理学実習Ⅰで学んだ基本的な調理操作を基にして、幅広い実習を経験する
40657	給食管理	給食管理はこの10年間の間に管理栄養士や栄養士をとりまく社会環境条件は大きく変化し、保険・栄養・福祉における食生活の課題に対応できる特定給食施設が求められ、そこで働く栄養士は独自性を持ちながら、経営的な効率性を組み込んだ給食管理の企画力、マネジメントと能力、適切な評価、さらには地域社会へのサービス等多岐に渡って期待されているため、その実務能力と知識を養うことを到達目標としたい。
40661	給食管理実習Ⅰ	給食施設において、管理栄養士・栄養士の指導の下で実習を行い、栄養士として給食業務を行うために必要な知識・技能を体得させる。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40662	給食管理実習Ⅱ	<p>学校給食に関する実務について体験学習をするとともに、学校栄養職員の仕事が単なる給食の管理にとどまることなく、子供の成長、発育段階に応じた栄養教育に関与していることへの理解を深める。さらに児童・生徒と接する機会を設けて子供の視線で給食を考えることにより学校栄養職員への理解をより深める。給食実習は給食時の栄養指導の媒体作成（1年次後期にテーマを発表）</p> <p>※毎年、1人1個の媒体を作る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 媒体製作内容計画書を提出（媒体名、テーマ、対象、目的、内容を具体的に記入し事前に提出する） 2. 効果、反省は実習終了後提出。
40712	微生物学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品基本法の沿革と理念を理解する 2. 微生物と食品の変質について理解する 3. 食中毒と原因微生物・物質の特徴について理解する 4. 食品添加物の概念と利用について理解する
40714	基礎化学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物質のなりたち、化学結合と分子を理解する。 2. モルと質量の関係を理解する。 3. 化学反応と物質の変化を理解する。 4. 食品の主な構成要素を化学的に理解する。
40747	臨床検査データ解析	検査値の読み方が診断、治療につながる興味を引き出す事を目標
40719	コンピュータリテラシー	<p>電子メールリーダの設定および活用技能を身につける。</p> <p>インターネット検索エンジンの活用技能を身につける。</p> <p>表計算ソフトウェアの基本操作および関数の使用方法を身につける。</p>
40722	情報処理学演習Ⅰ	日本商工会議所主催の「日商PC検定試験（文書作成）」3級に全員合格することを目指して授業を展開をします。将来、医療事務・栄養管理・企業・銀行等において活躍するために正確な文書作成の能力を高め、コンピュータを活用した情報処理のスキルを身につけることを到達目標とします。
40723	情報処理学演習Ⅱ	医事コンピュータソフトウェアを用いた窓口会計処理およびレセプト作成処理の操作方法を身につける。
40727	薬理学	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本臨床上の汎用される医薬品名の把握 2. 薬剤の薬理作用および副作用の理解 3. 薬剤の薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）などの基礎的知識の理解 4. 薬事関係関連法規の理解

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
40063	保育学	保育学を通じて将来の育児へと、また就職の際へ役立つことを期待する。 小児科学及び産科学的に出産、新生児～幼児の成長について細かく理解してもらおう
40750	フードスペシャリスト論	“フードスペシャリスト”という資格の専門性を理解するとともに、資格認定試験の合格を目指し、各教科目の総括として講義する。また、模擬試験を実施し、試験に対する実力を身に付ける。
40753	食品流通論	講義全体として、健康で豊かな生活を過ごすためには、食の理解・関心が不可欠であることを学ぶ。
40756	フードコーディネーター論	食べる側の視点から消費者にとって有益な食生活情報を提供できるフードスペシャリストとしての能力を養う。
40759	食品の官能評価・鑑別演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品の味覚・食感についての意味、評価の方法について説明することができる。 2. 食品のレオロジー、テクスチャーの意味について説明することができる。 3. 食品の官能検査の実施方法（嗜好型試験、分析型試験）についての概要を説明することができる。 4. 食品に特徴的な鮮度の評価法、劣化の要因について説明することができる。 5. 各種生鮮食品および加工食品の安全性の指標を列挙することができる。
40728	病院管理学	病院管理学の基礎知識として「病院の組織や機能」を学びますが、さらには医療秘書に必要な生きた病院管理として講義を進めます。
40738	医療事務概論	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険制度の概要について保険請求事務の流れから各種医療保険制度のしくみを理解する。 2. 診療行為別の点数算定方法とその解釈のうち、初診料、再診料、投薬料、注射料の各区分を理解する。
40740	診療報酬請求事務Ⅰ	診療行為別の点数算定方法とその解釈のうち、処置、手術・輸血、麻酔、検査、画像診断、医学管理、在宅、入院の各区分を理解する。
40741	診療報酬請求事務Ⅱ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療報酬点数算定の解釈の理解を深める。 2. 外来および入院カルテからレセプトを手書きで作成する技能を身に付ける。
40737	医療秘書実務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療秘書の仕事内容とその役割について理解する。 2. 窓口会計処理の実務内容を身に付ける。 3. 医療機関における患者接遇（身だしなみ、マナー、適正な言葉遣いなど）を身に付ける。
40739	医療秘書実務実習	医療機関の現場において研修することにより、机上では学ぶことのできない実体験として医療秘書実務士の役割とその業務内容を深く理解する。

専 攻 科

専攻科は長年にわたり保育の現場を担う保育士の養成に貢献してきた保育学科における保育技術経験を土台に、介護福祉士としての専門能力を更に修得させ、円熟した介護サービスの専門家を養成することを教育目的として、平成 14(2002)年に設置された。昭和 63(1988)年の介護福祉制度の施行から現在に至るまでの介護福祉士の在り方及び養成プロセスを踏まえたカリキュラムが見直しされ、平成 21(2009)年 4 月 1 日より新しい制度が施行された。人間の尊厳を支えるケアの実践、自立支援、予防介護など建学の精神の理念と高い倫理性に立つての学習や職業意識を持たせることを教育目標としている。

1 年間で介護福祉士資格を取得することができる。オリエンテーションやホームルームできめ細かい履修指導をしている。また、バリアフリー論も履修科目に取り入れており、希望者は福祉住環境コーディネーター（2 級、3 級）を受験し資格を得ることができる。

当該教育課程で取得可能な免許・資格

免許・資格	取得に必要な科目数（単位数）
介護福祉士	21 科目（52 単位）

【介護福祉士専攻 必修科目】

区 分	授業科目名（単位数）
人間と社会	社会の理解（1）
介 護	介護の基本Ⅰ（3）、介護の基本Ⅱ（3）、コミュニケーション技術（2）、介護技術Ⅰ（2）、介護技術Ⅱ（2） 形態別介護技術（3）、形態別介護技術（点字）（1）、福祉住環境論（2）、家事の介護（2）、介護概論Ⅰ（6）、介護概論Ⅱ（4）、介護実習指導Ⅰ（1）、介護実習指導Ⅱ（1）、介護実習Ⅰ（3）、介護実習Ⅱ（4）
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解（2）、認知症の理解（4）、障害の理解（2）、こころとからだのしくみⅠ（2）、こころとからだのしくみⅡ（2）

その他の取得可能な免許・資格

免許・資格	取得に必要な科目数（単位数）
福祉住環境コーディネーター検定試験 2・3 級	関係科目履修の他に、希望者に対し受験対策講座を実施

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
61010	社会の理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護を必要とする者に対する全人的な理解や尊敬の保持、介護実践の基礎となる教養、総合的な判断力及び豊かな人間性が身に付いている。 ○ 保育士養成課程で学んだ内容を踏まえて、わが国の社会保障、介護保険制度と障害者自立支援制度について基本的知識が身に付いている。 ○ 利用者本位のサービスを提供するために必要な基礎的知識が身に付いている。
61020	介護の基本Ⅰ	あらゆる介護現場に対応できる介護の知識・技能を身につける
61030	介護の基本Ⅱ	あらゆる介護現場に対応できる介護の知識・技能を身につける
61040	コミュニケーション 技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護技術の提供を通して生活を支援するという介護福祉士の専門性と人間の基本願望であるコミュニケーションとの関係の姿勢が身に付いている。 ○ 新しい視点も提案し、深く理解することを目指し、積み重ねて介護福祉士の専門性につながるコミュニケーション技術の姿勢が身に付いている。 ○ コミュニケーション障害の理解、傷害に応じたコミュニケーション技法について考え、適切にコミュニケーションを取ることができる。
61050	介護技術Ⅰ	尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について修得する。
61060	介護技術Ⅱ	尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について修得する。
61070	形態別介護技術	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状態・状況に応じた生活支援技術を理解する。 ・障害別に応じた適切な生活支援ができる技術の獲得について学ぶ。 ・認知症や、知的障害、精神障害、発達障害等の分野で必要とされるケアについて理解する。
61080	形態別介護技術（点 字）	視覚障害者と晴眼者とのコミュニケーション手段の一つである点字の必要性と特性について学びながら、基礎から応用へと段階的に学習を進めていくことにより、点字能力を修得する。
61090	福祉住環境論	高齢者、障がい者の在宅での住まい方を症状、障がいの違いを理解し、住いの特徴を共に学び、福祉の住い造りを介護の立場から学ぶ事を目指す。又、福祉住環境コーディネーター検定2級の資格取得を計かります。
61100	家事の介護	<p>基本的な調理操作が理解できる。 どのような食事形態が高齢者にふさわしいか理解できる。 安全で衛生的に調理操作ができる。 嚥下困難者に対する調理法が理解でき実践できる。</p> <p>利用者の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を修得する。 自立に向けた家事の介護を具体化するための知識と技術を身につける。</p>

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
61110	介護概論Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の意義と目的を理解し、生活支援の考え方を理解する。 ・他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。 ・介護過程の実践的展開方法を理解する。 ・介護過程とチームアプローチの関係について理解する。
61120	介護概論Ⅱ	他の科目で学習した知識や技術を統合して適切な介護サービスの提供ができる能力を養う
61130	介護実習指導Ⅰ	他の科目で学習した知識や技術を統合して適切な介護サービスの提供ができる能力を養う
61140	介護実習指導Ⅱ	<p>実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中が学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や、技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。</p> <p>実習と組み合わせた学習とする。</p>
61150	介護実習Ⅰ	多様な介護サービスに対応できるようになる
61160	介護実習Ⅱ	多様な介護サービスに対応できるようになる
61170	発達と老化の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の成長と発達の基礎的理解を深める。 ・老化に伴うこころとからだの変化を具体的に学び、理解を深める。 ・老年期の発達と成熟について理解を深める。 ・老化が及ぼす日常生活への影響を具体的な実践に結び付けて理解する。 ・高齢者の健康のあり方について、実践や事例を通して学ぶ。
61180	認知症の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的側面から見た認知症の基礎的知識について学ぶ。 ・認知症を取り巻く歴史的、社会的状況について理解を深める。 ・認知症に伴うこころとからだの変化を具体的に学ぶ。 ・認知症の人に対する介護の基本を学び、介護実践力を培う。 ・認知症に関する制度や地域におけるサポート体制等について学び、理解を深める。
61190	障害の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害とは何か」という障害の概念を理解する。 ・障害者福祉の基本理念を理解する。 ・障害の医学的側面の基礎知識を理解する。 ・障害の人の心理や身体機能に関する基礎的知識を理解する。 ・地域における障害を取り巻く連携と協働を理解し、家族支援について学ぶ。
61200	こころとからだのしくみⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根本となる人体の構造および機能について学ぶ。 ・人間の欲求の基本について理解を深める。 ・こころとからだのしくみを具体的に学び、理解を深める。 ・身じたく・移動・食事に関連したこころとからだのしくみを学び、介護実践能力を培う。

開講科目 コード	開講科目名	到達目標
61210	こころとからだのしくみⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみを学び、介護実践能力を培う。 ・排泄に関連したこころとからだのしくみを具体的に学び、理解を深める。 ・睡眠に関連したこころとからだのしくみについて、理解を深める。 ・死にゆく人のこころとからだのしくみを学び、理解を深める。
60045	バリアフリー論	<p>高齢者や障がい者の生活面での特性を理解し、住み慣れた住いの中で、安心・安全に生活出来る様に、障壁(バリアー)となっているものの存在をピックアップし、除去する手法を学びます。又、福祉住環境コーディネーター3級の資格を計かります。</p>